



Red Hat Decision Manager 7.2

Decision Central におけるプロジェクトの管理

ガイド

Red Hat Decision Manager 7.2 Decision Central におけるプロジェクトの管理

ガイド

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2023 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Managing_projects_in_Decision_Central.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本書は、Decision Central で新規プロジェクト、サンプルプロジェクトまたはインポート済みのプロジェクトを管理する方法と、プロジェクトの変更に複数のブランチを使用する方法を説明します。

目次

| | |
|---|----|
| はじめに | 3 |
| 第1章 RED HAT DECISION MANAGER プロジェクト | 4 |
| 第2章 DECISION CENTRAL の既存プロジェクトの変更 | 5 |
| 第3章 プロジェクトの作成 | 6 |
| 3.1. MORTGAGES サンプルプロジェクトの変更 | 6 |
| 第4章 GIT リポジトリからのプロジェクトのインポート | 8 |
| 第5章 プロジェクトバージョンの改訂 | 9 |
| 第6章 DECISION CENTRAL での複数のブランチ | 10 |
| 6.1. ブランチの作成 | 10 |
| 6.2. ブランチの選択 | 11 |
| 6.3. ブランチの削除 | 11 |
| 6.4. プロジェクトのビルドおよびデプロイ | 12 |
| 付録A バージョン情報 | 13 |

はじめに

プロセス管理者は、Red Hat Decision Manager の Decision Central を使用して、1つまたは複数のブランチで新しいプロジェクト、サンプルプロジェクト、インポートしたプロジェクトを管理できます。

前提条件

- Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 7.2.0 がインストールされている。詳細は、[Red Hat JBoss EAP 7.2.0 インストールガイド](#) を参照してください。
- Red Hat Decision Manager がインストールされ、Decision Server で設定されていること。詳細は、[Red Hat JBoss EAP への Red Hat Decision Manager のインストールおよび設定](#) を参照してください。
- Red Hat Decision Manager が稼働し、**developer** ロールで Decision Central にログインできる。詳細は、[Red Hat Decision Manager インストールの計画](#) を参照してください。

第1章 RED HAT DECISION MANAGER プロジェクト

Red Hat Decision Manager プロジェクトは、Red Hat Decision Manager で開発するビジネスアセットを含み、スペースに割り当てられます (例: **MySpace** の **MyProject**)。プロジェクトには、Maven プロジェクトのオブジェクトモデルファイル (**pom.xml**) などの設定ファイルも含まれますが、設定ファイルには、ビルド、環境、その他のプロジェクト関連情報、KIE モジュール記述子ファイル (**kmodule.xml**) が含まれます。KIE モジュール記述子ファイルには、プロジェクトのアセットに関する KIE ベースおよび KIE セッションの設定が含まれます。

第2章 DECISION CENTRAL の既存プロジェクトの変更

Decision Central には、製品と機能に慣れるために使用できるサンプルプロジェクトが多数あります。サンプルプロジェクトは、さまざまなビジネスシナリオを紹介するために設計され、作成されました。サンプルプロジェクトを変更し、ビジネス固有のニーズを満たすことができます。たとえば、Red Hat Decision Manager 7.2 には **住宅ローン** のサンプルプロジェクトが含まれており、このプロジェクトは、事前定義済みのデータオブジェクト、ガイド付きデシジョンテーブル、ガイド付きのルール、フォーム、およびビジネスプロセスで設定されます。このサンプルを編集して、ビジネスプロセスを改良できます。

要件を満たす既存の Decision Central のプロジェクトサンプルがない場合は、新規プロジェクトを作成するか、Git リポジトリからプロジェクトをインポートできます。詳細は、[4章 Git リポジトリからのプロジェクトのインポート](#) を参照してください。git から他のプロジェクトをインポートできます。たとえば、別の Decision Central インスタンスで開発したプロジェクトなどがあります。

第3章 プロジェクトの作成

プロジェクトには、お使いのプロジェクト要件に特有のデータモデル、ビジネスプロセス、ビジネスルール、およびフォームを含めることができます。Decision Central でプロジェクトを作成すると、プロジェクトは Red Hat Decision Manager インストールに接続されている Git リポジトリに追加されます。

手順

1. Decision Central にログインし、**Menu** → **Design** → **Projects** の順にクリックします。
2. **Add Project** をクリックします。
3. **Add Project** ウィンドウの **Name** フィールドに **anyName** と入力し、**Add** をクリックします。**anyName** は、新規プロジェクトに指定する名前に置き換えます。

図3.1 anyName プロジェクトの追加

プロジェクトが作成されると、プロジェクトの **Assets** ビューが開きます。

3.1. MORTGAGES サンプルプロジェクトの変更

住宅ローン サンプルプロジェクトは、事前定義済みのデータオブジェクト、ガイド付きデシジョンテーブル、ガイド付きルール、フォーム、およびビジネスプロセスで設定されています。サンプルプロジェクトを利用すれば、Red Hat Decision Manager の使い方を簡単に覚えることができます。実際のビジネスシナリオでは、ビジネス要件に適したデータを使用してすべてのアセットを作成します。

住宅ローンのサンプルプロジェクトに移動し、事前定義済みアセットを表示します。

手順

1. Decision Central にログインし、**Menu** → **Design** → **Projects** の順にクリックします。

2. 画面の右上隅の  をクリックして、**Try Samples** を選択します。

3. **Mortgages** を選択して、**Ok** をクリックします。プロジェクトの **Assets** ビューを開きます。
4. 変更するアセットをクリックします。アセットは、プロジェクト要件に合わせて、すべて編集できます。

第4章 GIT リポジトリからのプロジェクトのインポート

Git は分散バージョン管理システムです。リビジョンをコミットオブジェクトとして実装します。リポジトリに変更を保存すると、Git リポジトリに新しいコミットオブジェクトが作成されます。

Decision Central は Git を使用してプロジェクトデータ (ルールやプロセスなどのアセットを含む) を格納します。Decision Central でプロジェクトを作成すると、プロジェクトは Decision Central に接続されている Git リポジトリに追加されます。Git リポジトリにプロジェクトがある場合は、Decision Central スペースから、そのプロジェクトを Decision Central の Git リポジトリにインポートできます。

前提条件

- Red Hat Decision Manager プロジェクトが外部の Git リポジトリに存在している。
- 外部の Git リポジトリへの読み取りアクセスに必要な認証情報が利用できる。

手順

1. Decision Central で **Menu** → **Design** → **Projects** の順にクリックします。
2. プロジェクトをインポートするスペースを選択または作成します。デフォルトのスペースは **mySpace** です。
3. 画面の右側の  をクリックして、**Import Project** を選択します。
4. **Import Project** ウィンドウに、インポートするプロジェクトが含まれる Git リポジトリの URL および認証情報を入力し、**Import** をクリックします。プロジェクトを Decision Central の Git リポジトリに追加して、作成したスペースまたはデフォルトのスペースで使用できるようにします。



第5章 プロジェクトバージョンの改訂

プロジェクトの新規インスタンスをデプロイする前に、Red Hat Decision Manager のプロジェクトバージョン番号を改訂できます。プロジェクトの新規バージョンを作成すると、以前のバージョンを保存して、新規バージョンで問題が発生した場合に、以前のバージョンに戻すことができます。

前提条件

Decision Server をデプロイし、Decision Central に接続している。

手順

1. Decision Central にログインし、**Menu → Design → Projects** の順にクリックします。
2. デプロイするプロジェクト (例: **Mortgage**) をクリックします。
3. **デプロイ** をクリックします。
 - プロジェクト名にコンテナがない場合は、デフォルト値でコンテナが自動的に作成されます。
 - 以前のバージョンのプロジェクトがすでにデプロイされている場合は、プロジェクト設定に移動して、プロジェクトバージョンを変更します。終了したら、変更を保存して **Deploy** をクリックします。これにより、最新の変更が適用された同じプロジェクトの新しいバージョンが、古いバージョンとともにデプロイされます。
4. デプロイメントを確認するには、**Menu → Manage → Process Definitions** をクリックし、 をクリックします。
5. **Actions** 列の  をクリックして、**Start** を選択し、プロセスの新規インスタンスを起動します。

第6章 DECISION CENTRAL での複数のブランチ

Decision Central では複数のブランチの使用をサポートしており、すべてのアセットを含む、既存のブランチをもとに新規ブランチを作成できます。新規プロジェクト、インポートされたプロジェクト、サンプルプロジェクトはすべてデフォルトの **master** ブランチで開きます。必要な数だけブランチを作成し、**master** ブランチのオリジナルのプロジェクトに影響を与えずに、複数のブランチ間を切り替えて作業することができます。

Red Hat Decision Manager 7.2 には、ブランチの永続化サポートがあります。このサポートにより、Decision Central が最後に使用したブランチを記憶し、ログインしなおしたときにそのブランチが開くようになります。

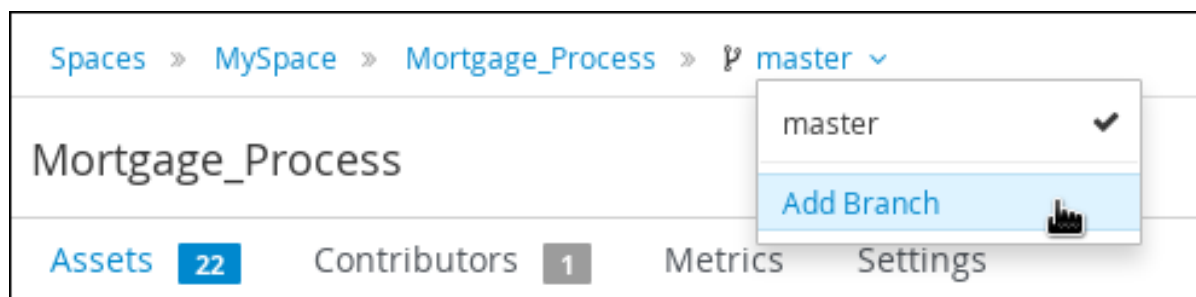
6.1. ブランチの作成

Decision Central で新規ブランチを作成して、任意の名前を指定できます。最初は、デフォルトの **master** ブランチだけが存在します。プロジェクトに新しいブランチを作成するときに、選択したブランチのコピーが作成されます。オリジナルの **master** ブランチバージョンに影響を与えることなく、新規ブランチのプロジェクトに変更を加えることができます。

手順

1. Decision Central にログインし、**Menu** → **Design** → **Projects** の順にクリックします。
2. **Mortgages** サンプルプロジェクトなど、新規ブランチを作成するプロジェクトをクリックします。
3. **master** → **Add Branch** をクリックします。

図6.1 新規ブランチの作成メニュー



4. **Name** フィールドに **testBranch1** と入力して、**Add Branch** ウィンドウから **master** を選択します。**testBranch1** は、新規ブランチに指定する名前に置き換えます。
5. **Add Branch** ウィンドウから、新規ブランチのベースとなるブランチを選択します。既存のブランチであれば、どれでも選択できます。
6. **Add** をクリックします。

図6.2 新規ブランチ追加のウィンドウ

The screenshot shows a dialog box titled "Add Branch". It has a close button (X) in the top right corner. Below the title bar, there are two main sections: "Name" and "From". The "Name" section has a text input field containing "testBranch1". The "From" section has a dropdown menu currently showing "master". At the bottom right of the dialog, there are two buttons: "Cancel" and "Add".

新規ブランチの追加後に、そのブランチにリダイレクトされます。このブランチには、**master** ブランチのプロジェクト内にあったアセットがすべて含まれます。

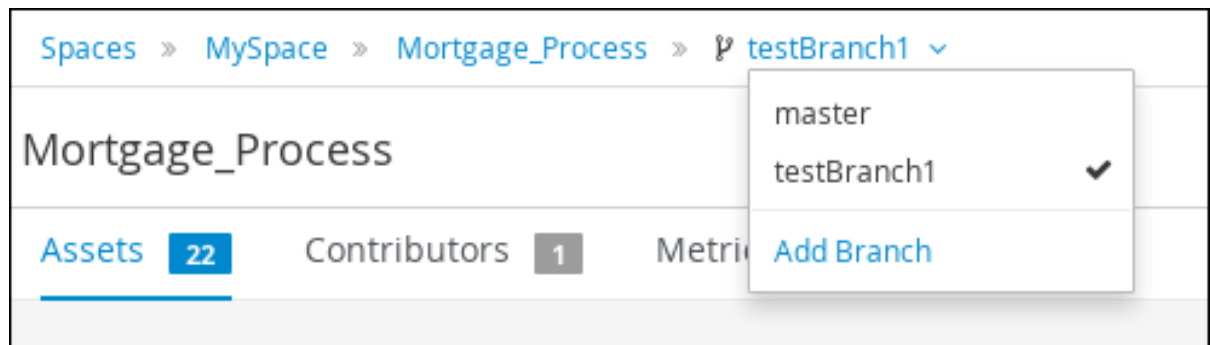
6.2. ブランチの選択

ブランチ間を切り替えて、プロジェクトアセットに変更を加えて、変更した機能をテストできます。

手順

1. 現在のブランチ名をクリックして、ドロップダウンリストから任意のプロジェクトブランチを選択します。

図6.3 ブランチメニューの選択



ブランチの選択後に、対象のプロジェクトと、定義したアセットがすべて含まれるブランチにリダイレクトされます。

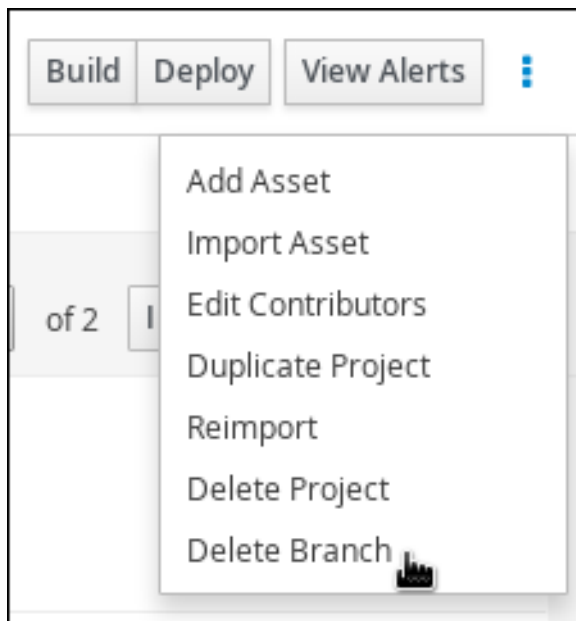
6.3. ブランチの削除

master ブランチ以外のブランチはどれでも削除できます。Decision Central では、環境が壊れないように、**master** ブランチを削除できません。以下の手順は、**master** 以外のブランチで行わないと、機能しません。

手順

1. 画面の右上隅の  をクリックして、**Delete Branch** を選択します。

図6.4 ブランチメニューの削除



2. **Delete Branch** ウィンドウで削除するブランチ名を入力し、**Delete Branch** をクリックします。

6.4. プロジェクトのビルドおよびデプロイ

プロジェクトを作成したら、Decision Central の指定のブランチでプロジェクトをビルドして、設定した Decision Server にデプロイできます。

手順

1. Decision Central で、**Menu** → **Design** → **Projects** に移動して、プロジェクト名をクリックします。
2. 右上隅にある **Deploy** をクリックし、プロジェクトをビルドして Decision Server にデプロイします。ビルドに失敗したら、画面下部の **Alerts** パネルに記載されている問題に対処します。プロジェクトのデプロイに関する詳細は、[Red Hat Decision Manager プロジェクトのパッケージ化およびデプロイ](#) を参照してください。

付録A バージョン情報

本書の最終更新日: 2021年11月15日(月)